

日本現代中国学会第 67 回全国学術大会のご案内

会員各位

2017 年の日本現代中国学会全国学術大会は、10 月 28 日（土）と 29 日（日）の両日、愛知大学名古屋校舎において開催することになりました。愛知大学ではこれまで、1954 年、1983 年、2005 年の 3 回、全国大会が開催されたことがあります。今回は 2012 年にみよし市にあった旧キャンパスから移転し、今年新校舎がすべて完成した新名古屋キャンパスで初めて開催いたします。新キャンパスは名古屋駅にほど近く、交通至便です。

今年の全国大会の共通論題のテーマは「ロシア革命百年と中国」です。

百年前にロシアで起こった政治変動が、その後の中国の歴史に及ぼした巨大な影響については贅言を要さないでしょう。また、ロシア革命が生み出した事物の一部が、変容しながらもなお中国において機能を発揮し続けていることも否定できません。しかし、ソ連邦の崩壊、中国の改革開放政策の展開という事態の前に、いまやロシア革命と今日の中国との結びつきなどを想起する機会はほとんどなくなってしまいました。他方では、「歴史の終わり」が喧伝された冷戦終結直後の一時期が過ぎ去り、各地でナショナリズムの動きが台頭し、地政学的な国家間の角逐が顕著になるなど、世界はロシア革命以前を思わせる光景を呈しているようにも見えます。

このような認識を踏まえて、あらためてこの 1 世紀に及ぶ「ロシア革命」と中国との関わりについて多面的に考察したいというのが、今回の共通論題のねらいです。中国とソ連（ロシア）の共産党間・国家間の関係、経済発展の経験をめぐる比較、政治・法制度の受容と変容、文化的影響関係など、なお問い続けなければならない諸問題が数多く残されています。ソ連との関係・比較について豊富な研究を蓄積してきた日本の現代中国研究が、その成果をこれからの中国研究にどのようにいかしていくことができるのかにも注目したいと思います。

この共通論題のほか、今回は各地域部会のご協力のおかげで、4 つのテーマ分科会、歴史、文学、政治、経済、社会の各自由論題分科会もあわせて、多数の報告者を募ることができました。質の高い活発な討論が行われること期待して、多くの会員の皆さまのご参集をお待ち申し上げております。

記

日時：2017 年 10 月 28 日（土）12 時より受付開始、29 日 9 時より受付開始

場所：愛知大学名古屋キャンパス

〒453-8777 名古屋市中村区平池町 4-60-6

キャンパス・マップ（大会プログラム添付の地図をご覧ください）

交通アクセス <http://www.aichi-u.ac.jp/profile/campus-nagoya.html>

①**徒歩の場合** JR 名古屋駅・名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅・地下鉄名古屋駅より、いずれも徒歩約 15 分。

②**あおなみ線利用の場合** 名古屋駅であおなみ線（名古屋駅始発、毎時 00 分、15 分、30 分、45 分発）に乗り換えて 1 駅（約 1 分）「ささしまライブ 21」駅下車、直結するデッキを徒歩数分。

③**シャトルバス利用の場合** ミッドランドスクエア前から「ささしまライブ 24」まで（約 4 分）、下車すぐ。シャトルバスは平日は午前 7 時～午後 10 時の間約 10 分間隔、日曜日は午前 10 時～午後 9 時の間約 12 分間隔。

参加費 : 1000 円（設備費・資料代等）

弁当代 : 29 日は日曜日のためキャンパス内食堂は閉店しますので（キャンパス内にコンビニ、近くにはレストランがあります）、昼食のためのお弁当（お茶付き）の予約を承ります。1000 円です。

懇親会費 : 28 日総会終了後に名古屋駅周辺を一望できる本館 20 階スカイラウンジで懇親会を開催します。奮ってご参加ください。参加費は一般会員 4000 円、学生 3000 円です。

★参加申し込みはできるだけ大会参加申し込みフォームを通じてお願いします。URL は以下の通りです。<https://www.form-navi.com/MailForm/ShowForm.aspx?fid=2015082101> あるいは同封の出欠確認はがきでもかまいません。必要事項をご記入の上、**10 月 4 日（水）**までにご投函ください。

★参加費、懇親会費、弁当代、学会年会費は同封の振込用紙に必要事項をご記入の上、**10 月 4 日（水）**までにお振り込みください。

愛知大学大会実行委員会

三好章（代表）、砂山幸雄、黄英哲、阿部宏忠、加治宏基

お問い合わせ先

〒453-8777 名古屋市中村区平池町 4-60-6

愛知大学現代中国学部 砂山幸雄研究室気付

E-mail 2017genchu[at]gmail.com

（[at] を@に変更してください）

以上

大会プログラム

10月28日(土)

10:30～	理事会
12:00～	受付(講義棟 10F エレベーターホール前)
13:00～16:45	共通論題: ロシア革命百年と中国(講義棟 L1004)
17:00～18:00	総会(講義棟 L1004)
18:15～19:45	懇親会(本館研究棟 20F スカ이라ウンジ)

10月29日(日) ※分科会によって開始時間、終了時間が異なりますので、ご注意ください。

9:00～	受付(講義棟 8F エレベーターホール前)			
	企画分科会・自由論題分科会			
講義棟 8F 教室	L801	L802	L803	L804
A 10:00～12:00 BCD 9:30～ 12:00	A [企画] 政治思想	B 文学	C 歴史1	D 社会1
13:00～15:00	E [企画] 東亜同文書院	F 経済	G 歴史2	H 政治・法律
I 15:15～16:45 JK 15:15～17:15 L 15:15～17:45	I [企画] 演じられる性	J [企画] 新学術環境	K 思想・教育	L 社会2

■10月28日(土) 理事会/共通論題/総会/懇親会

10:30～ 理事会 講義棟 L1001 教室

12:00～ 受付 講義棟 10階エレベーターホール前

13:00～16:45 共通論題「ロシア革命百年と中国」 (L1004)

座長: 高見澤磨 (東京大学)

報告1: 中兼和津次 (東京大学名誉教授)

経済発展・経済体制

報告2: 鈴木 賢 (明治大学)

法律・政治体制

報告3: 楊 奎松 (華東師範大学)

歴史・国際関係

報告4: 瀬戸 宏 (摂南大学)

文学・文化

討論1: 巖 善平 (同志社大学)

討論2: 坂元ひろ子 (一橋大学名誉教授)

17:00～18:00 総会 (L1004)

18:15～19:45 懇親会 (本館研究棟 20F スカ이라ウンジ)

■10月29日(日) 企画分科会・自由論題分科会

9:00～ 受付 講義棟8階エレベーターホール前

【午前の部】

10:00～12:00 A分科会

9:30～12:00 B・C・D分科会

A. [企画] 20世紀の国際情勢と近現代中国における政治思想の展開 (L801)

座長・討論：砂山幸雄(愛知大学)

報告1：森川裕貴(京都大学)

第1次世界大戦後の中国における国際協調論とその射程

報告2：水羽信男(広島大学)

中国リベラリズムの一潮流—「戦国策派」を素材として

報告3：中村元哉(津田塾大学)

冷戦下の中国、香港、台湾のリベラリズム—1960年代～1970年代を中心に

B. [自由] 文学 (L802)

座長：工藤貴正(愛知県立大学)

報告1：山口早苗(東京大学・院生)

「中華副刊」に見る占領下の文学活動

報告2：西村正男(関西学院大学)

「何日君再来」再考

報告3：虞萍(南山大学)

謝冰心の日本訪問に関する一考察

報告4：梁有紀(富山大学)

『申報』文芸欄「白茅」について

C. [自由] 歴史1 (L803)

座長：菊池一隆(愛知学院大学)

報告1：長谷川怜(学習院大学・院生)

満洲経営の論理—撫順炭鉱をめぐる陸軍と外務省の構想

報告2：広中一成(愛知大学非常勤講師)

第二次長沙作戦の敗北原因の検討—インパール作戦と比較して

報告3：大澤武司(熊本学園大学)

「中共渡し戦犯」の選考に関する一試論—第39師団のシベリア抑留過程を中心に

報告4：楊小平(広島大学)

近代中国における戦争の記憶の〈語り〉に関する一研究—南京から広島へ、そしてヒロシマからナガサキへ

D. [自由] 社会1 (L804)

座長：日野みどり (愛知大学)

報告1：大濱慶子 (神戸学院大学)

中国の社交ダンスの発展と1950年代以降の大衆文化の再生

報告2：劉文静 (岩手県立大学)

「養老」における農地の生活保障的機能の変容と農業者公的年金制度の整備

報告3：朴敬玉 (日本学術振興会外国人特別研究員)

有機米のブランド化と専業農場—吉林省延辺地域を中心に

報告4：松戸庸子 (南山大学)

中国リベラリズムの敗北—「狼牙山五壮士」名誉毀損裁判をめぐって

12:00~13:00 昼食・休憩 (L805)

【午後の部1】

13:00~15:00

E. [企画] 東亜同文書院と東アジア——「大旅行」「従軍」「学徒出陣」 (L801)

座長：三好章 (愛知大学)

報告1：石田卓生 (愛知大学)

1937年、書院生従軍について—第34期生原田実之の記録を中心に

報告2：森健一 (たちばな学園)

東亜同文書院大学学生の学徒出陣について

報告3：藤田佳久 (愛知大学名誉教授)

書院生の見た近代東アジア—「東亜同文書院大旅行」再考

F. [自由] 経済 (L802)

座長：辻美代 (流通科学大学)

報告1：李小燕 (たちばな学園)

中国企業と社会的責任—重大事件をめぐって

報告2：中川涼司 (立命館大学)

中国企業多国籍企業化の進展とその意味—中所得国多国籍企業論の提起

報告3：李春利 (愛知大学)

都市環境問題の日中比較—北京と東京の交通混雑を中心に

G. [自由] 歴史2 (L803)

座長：田中仁 (大阪大学)

報告1：土田哲夫 (中央大学)

中国国民党の留ソ派とその活動

報告2：森久男 (愛知大学)

蔣介石の対日抗戦戦略と作戦指導の再検証

報告3：田瑜（東京大学・院生）
国民党政権の政治宣伝と戦後統治（1945～1949）

H. [自由] 政治・法律（L804）

座長：趙宏偉（法政大学）

報告1：李貌（東京大学・院生）
中国において租税訴訟が少ない要因と土地財政

報告2：松本和久（日本大学）
再論・新疆における地方民族主義—民族自決論の解釈を手がかりとして

報告3：羽根次郎（明治大学）
一帯一路の系譜

【午後の部2】

15:15～16:45 I

15:15～17:15 J・K

15:15～17:45 L

I. [企画] 演じられる性——現代中国の演劇・映画におけるジェンダーロールとナショナルイメージの交錯と逸脱（L801）

座長：濱田麻矢（神戸大学）

報告1：三須祐介（立命館大学）
「秋海棠」から「紅伶涙」へ—移ろう“男性性”をめぐって—

報告2：田村容子（金城学院大学）
「救国の妓女」を描く中国映画—社会主義文化における女性の身体と国家の想像

討 論：小笠原淳（熊本学園大学）、津守陽（神戸市外国語大学）

J. [企画] 近現代中国をめぐる新たな学術環境（L802）

座長：中村元哉（津田塾大学）

報告1：河野正（学習院大学）
農村社会史研究の新たな地平

報告2：相原佳之（東洋文庫）
汪精衛文書の新たな地平

報告3：大澤肇（中部大学）
近現代中国研究とデータベースの新たな地平

討 論：佐藤仁史（一橋大学）

K. [自由] 思想・教育（L803）

座長：川尻文彦（愛知県立大学）

報告1：宋曉煜（愛知大学）
「天演論」と「勸学篇」の関連性から見た嚴復の政治思想—二段階的発展及び各段階の政治モデル

報告2：尹清洙（長崎県立大学）・百田成玉（長崎県文化観光国際部）
孫文の「知難行易」について

報告3：武小燕（名古屋経営短期大学）
魯迅精神の再検討と中国の国語教育改革

L. [自由] 社会2 (L804)

座長：阿古智子（東京大学）

報告1：磯部美里（愛知大学非常勤講師）
中国における「タイ医学」の治療実践—西双版纳タイ族を事例として

報告2：酒井亨（金沢学院大学）
台湾民主化以降のホーロー語文学における日本イメージと政治的含意（序説）

報告3：水谷尚子（中央大学非常勤講師）
中国ハリストス正教会と香港

報告4：佐藤千歳（北海商科大学）
中国の「プロテスタント家庭教会」による社会参加の試み—天安門世代の影響を中心に

■書籍販売

両日とも中国関係書店による書籍の出張販売を予定しています。是非ご利用ください。

■大会実行委員会からのご案内

★参加申し込みはできるだけ大会参加申し込みフォームを通じてお願いします。URL は以下の通りです。<https://www.form-navi.com/MailForm/ShowForm.aspx?fid=2015082101> あるいは同封の出欠確認はがきでもかまいません。必要事項をご記入の上、10月4日(水)までにご投函ください。

2. 大会参加費（資料代等 1000 円）、懇親会費（一般 4000 円、学生 3000 円）、お弁当代（1000 円）、学会年会費は同封の振込用紙に必要事項をご記入の上、10月4日(水)までにお振り込みください。

3. 29日は日曜日のためキャンパス内食堂は閉店しています（キャンパス内にはコンビニ、近くにレストランはあります）。事前にお申込みいただいた方に限り、お弁当（お茶付き、税込 1000 円）を用意いたします。

4. キャンパスへの車両入構は制限されています。徒歩または公共交通期間をご利用ください。

5. 宿泊施設についてはご自身で早めにご予約ください。名古屋駅周辺には多数のホテル等がございます。

6. 愛知大学構内は、決められた喫煙所以外は禁煙となっています。

7. 今年度の理事会は。大会初日の 10 月 28 日（土）午前 10 時 30 分より開催します。理事の方は是非ご出席ください。出席者にはお弁当を用意します。

8. 台風などで開催校が休講するような事態が発生した場合、開催の有無を朝 6 時の段階で学会のウェブサイトに掲載いたします。

名古屋キャンパス アクセス

「ささしまライブ」駅から
講義棟に歩行者デッキが直結しています。
〒453-8777 名古屋市中村区平池町四丁目60-6
TEL(052)564-6111(代表)



